

新型コロナウイルス感染症に係る生協組合員活動の指針について(第3版)

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症は、連日2千人を超え全国的に拡大する中でも、東京都は500人台となり、感染状況に関する4段階の警戒度を最高レベルの「感染が拡大している」へ引き上げられました。医療提供体制は上から2番目の「体制強化が必要である」と厳重な警戒が必要な状況です。

また、感染経路では家庭内感染が主流となる中、対策を講じても感染のリスクは高まっています。

法人対策本部は、これから年末年始を迎えるあたり、「新型コロナウイルス感染症に係る生協組合員活動の指針について(第3版)」をご提案いたします。第2版に引き続き、感染拡大防止と組合員皆様の安全な組合員活動を行うために、ご協力をお願い致します。

2. 組合員活動について

- 1月中旬まで集まることを極力避けましょう。
- この期間マスク着用でも生協活動としてカラオケ等の歌う活動は中止しましょう。
- 年末、年始を迎え、集まる機会も多い時期ですが、班、支部、協議会などでの例年の「忘年会、新春の集い」は中止しましょう。
- 飲食は感染のリスクが高いため禁止とします。食べ物は持ち帰る個包装にしましょう。水分補給は人との間隔を空けましょう。
- 集まる場合、3密を避け感染防止対策を十分に行いながら短時間にしましょう。特に寒い時期になりますが、定期的な換気に気をつけましょう。
- 生協日より新年号の仕分けに関しては、時間を分けて少人数で十分な間隔を空け、マスク着用で会話を控えて行いましょう。

3. 日常生活について

暮らしや働き方の「新しい日常」

新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくために、暮らしや働く場での感染拡大を防止する習慣＝「新しい日常」を、一人ひとりが実践していきましょう。

<p>手洗いの徹底・マスクの着用</p>	<p>ソーシャルディスタンス</p> <p>SOCIAL DISTANCE (距離を必ず)</p>	<p>「3つの密」を避けて行動</p> <p>NO!!3密</p>
<p>買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 少人数・短時間で済ませよう ■ レジで並ぶ時は間隔をあけよう ■ 通販やキャッシュレスを活用しよう 	<p>娯楽・スポーツ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインを活用し楽しもう ■ 公園は空いている時間、場所を選ぼう 	<p>公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 混んでいる時間帯を避けよう ■ 徒歩や、自転車を利用しよう
<p>食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ お箸やお皿の共用を避ける、座り方を工夫するなど、新しい食事マナーを実践しよう ■ テイクアウトやデリバリーを利用しよう 	<p>働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ テレワークや時差出勤を広げよう ■ オンライン会議やハンコレスを進めよう ■ ついたてや換気、消毒など、職場に応じた工夫をしよう 	

←東京都「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」14ページ より引用


○感染リスクが高まる「5つの場面」は避けましょう

新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することがわかっています。これまでの感染拡大の経験から、感染リスクの高い行動や場面が明らかになってきました。5つの場面の感染リスクが高い行動を避け、感染拡大防止にご協力ください。

感染リスクが高まる「5つの場面」


場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数話などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。




場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。




場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。




場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



●厚労省 HP より https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/bunkakai/teigen_12_1.pdf

4. 安全な組合員活動をすすめるために新型コロナウイルス陽性者情報など心配事は共有しましょう。

- ・ 基本的には診療機関・保健所の指示に従い治療・療養になりますが、それでも心配事があればご相談下さい。
- ・ 感染の情報相談については「個人情報に十分な配慮」を行い法人組織部にご相談下さい。感染対策本部と相談を行い対応致します。

電話：03-3947-7082 または 070-1307-1494 担当者：小西

5. 厚労省 新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：cocoa）について

- ・ 接触確認アプリは、陽性者と、1 m以内、15 分以上の接触の可能性がある場合に通知が行われます。接触通知等が届きましたら保健所の指示を受けましょう。もしくは法人感染対策本部へご相談ください。

電話：03-3947-7018 または 070-4006-0365 担当者：高野

6・発熱や体調不良の時は、まずかかりつけ医（病院・診療所）に電話をしてご相談ください。